

セクション 5-ハンズオンスクリプト

```
CREATE TABLE artist(id int not null auto_increment primary key, name varchar(255)
not null, category varchar(255))
```

SQL コードの短いものは一行ないのですが、長くなっていくと見えづらくなっていきます。このくらいの長さであれば、一行でも問題はないのですが、MySQL 側で推奨されているコードの記載方法があります。

このコードの行にカーソルを持ってきて、上にある「ほうきマーク」をクリックしてください。

そうすると、このように構造化されて、整理されたコードとなります。

これがベストプラクティスとして推奨されているコードの記載方法となっています。今後は長いコードについては、このベストプラクティスに沿ってコーディングを進めていきたいと思います。

また、この操作は指定の行にカーソルをあわせたうえで、MAC の場合は、コマンドキー + B によって、Windows の場合は Ctrl + B ボタンでも実施できますので、コマンドを省略して即時に実行することができます。

```

6
7 ● CREATE TABLE artist (
8     id INT NOT NULL AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY,
9     name VARCHAR(255) NOT NULL,
10    category VARCHAR(255)
11    ;

```

また、このコード内容だけですと、まだ不十分であるため、次のように手動で整理してあげてください。

まずは（ と ）などのカッコは同じ位置にある方が見やすいのですので、この場所をあわせるために改行してあげます。

```

6
7 ● CREATE TABLE artist
8   (
9     id INT NOT NULL AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY,
10    name VARCHAR(255) NOT NULL,
11    category VARCHAR(255)
12  );

```

→ta

また、タグキーをつかって、同じ項目を合わせることで視認性を高めることができます。

```
7 • CREATE TABLE artist
8 (
9     id          INT          NOT NULL AUTO_INCREMENT PRIMARY KEY,
10    name        VARCHAR(255)  NOT NULL,
11    category    VARCHAR(255)
12 );
```

こうすることで、カラム名とカラムの文字タイプや Null の設定などが一目で把握できるようになったかと思います。

間に空間があいても、同じコードとして認識しますので、これでも問題なく実行されます。

以上で長文コードの整理のレクチャーについては終了となります。